

地域包括支援センターだより さすエール Vol.9

地域包括支援センターは、地域にお住まいの高齢者やそのご家族の暮らしや健康に関わるさまざまなお困りごとにお応えするために設置された総合相談窓口です。

▼事例紹介～個別の相談内容に応じて、関係機関と連携を図りながら対応しています～

- ◆地区担当の民生委員が定期的に訪問していた高齢独居の方。
- ◆今まではご本人からの拒否が強く、訪問等全般を受け入れてもらえなかった。
- ◆最近になってご本人から初めて相談あり。新型コロナウイルス感染症の拡大から外出の機会が減少し、体調が優れなくなったとのこと。

- 1 地域包括支援センターの職員がご本人を訪問。初めての人に対して拒否が強い傾向があるため、これまで訪問を続けてきた地区担当民生委員に同行協力いただき、身体状況等を確認する。
- 2 外出の機会の減少からか、心身状態の低下が著しい様子。ご本人から日常動作全般が大変で、食事もしっかりとれていないとの訴えあり。持病の受診もしばらくしていないとのこと。
- 3 以前かかっていた病院への受診を調整し、受診時に介護保険についても担当医へ相談いただくこととした。
- 4 地区担当民生委員に、今後も継続的な見守り活動を続けていただくようお願い。情報共有しながら、状況に応じて随時対応していけるよう連携を再確認した。



Point

- ◆新型コロナウイルス感染症感染拡大による外出の機会の減少から身体機能低下。
- ◆身体状況の低下に気付いたきっかけが民生委員の見守り。
- ◆民生委員との同行訪問による現状の確認から、今後の継続的な見守りまでの連携。

ご相談はこちら

牛久市地域包括支援センター
☎878-5050 FAX 871-0540
牛久市中央3-15-1市役所分庁舎内 牛久市社会福祉協議会

牛久市地域包括支援センター博慈園 はくじえん
☎871-5110 FAX 871-0606
牛久市女化町253-2 社会福祉法人博慈会

みんなの農業

問 農業政策課 ☎内線1513



さつまいもが紡ぐ人と人の絆

実りの秋。さつまいもや大根、ごぼう、さといも…など市内の直売所やスーパーに牛久産の野菜がたくさん並びます。特にここ数年、市内で生産量を伸ばしているのが、秋の味覚さつまいもです。この日は、若手農業者のさつまいも畑にお邪魔しました。2年前に農業を退職し、農業を始めた櫻井和男さん(下根町)。

市内で、紅あずまや紅はるか、安納芋などを生産しています。初めは、さつまいもを作る予定ではなかったそう。「でも、さつまいも生産者の友人とどうして一緒に仕事をしたくて」。現在は、その友人と直売所や関東の市場に出荷し、今年は12万本もの苗を作付けました。

今後の目標は、「加工品にもチャレンジしたいが、自分は農家。まずは栽培のエキスパートになることが先決。技術を磨いて、若手農家をさつまいもの世界に誘いたい」と語ります。

取材中にも農家仲間へ声をかけられ、しばし情報共有。「農協にいたことで、顔見知りの農家さんはたくさんいる。自分が間に入ることで農業者と農業者がつながり、輪が広がっていったら嬉しい」と、素敵な笑顔を見せられました。

